



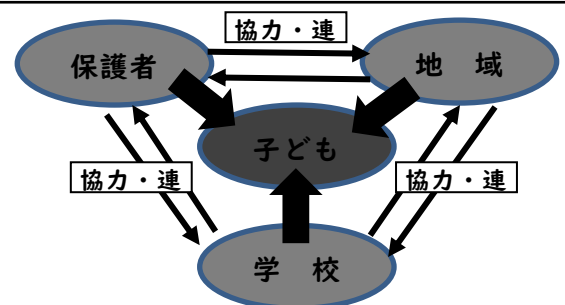
令和4年度学校運営協議会 第1回高鷲北小部会より

令和4年度4月から、「高鷲地域 学校運営協議会(高鷲中+高鷲小+高鷲北小)」が、小中一体協議会として発足し、活動をスタートさせました。

そして、6月27日(月)に「第1回学校運営協議会高鷲北小部会」を開催し、協議会委員のみなさんから授業参観の感想や、学校の取り組みへのご意見をいただきました。

学校運営協議会(コミュニティ・スクール=CS)について

◇ コミュニティ・スクール(CS)は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。



6/27の高鷲小部会でいただいた感想や助言

高鷲地域協議会役員 (高鷲北小部会長)	子どもたちが、地域と関わる中で、人間性が育まれることは重要。そして、地域を好きになることや、地域に必要とされていると子どもたちが思えるような動きを作っていきたい。
民生児童委員	- 地域の者は、学校の様子を知りたいので、ぜひ、そういった機会を設けていただきたい。 - 登下校の見守りができるためにも、地域のお年寄りなどに時間帯をアピールしていくとよいです。
明日の青少年を育てる会会長	この4月～6月にかけて、多くの大人が学校に来たり、関わったりしていて驚いた。昔は、授業参観ぐらいであった。ぜひ、地域の大人と関わる機会を作って、地域を支えるための絆をつくっておきたい。
元青少年育成担当者	授業参観を拝見して、どの学級も元気よく、楽しそうであった。地域と連携していくためにも、地域の方が学校を自由に参観して、学校のことを知る機会をつくっていけるといいです。
R4年度PTA会長	子どもたちの将来の選択は色々あるが、様々な地域の方から学ぶ機会を通して、地元のいいところについて、子どもたちの印象に残る機会をつくっていければいいと思う。そのような中で、地元の方と子どもたちとの交流が進めばいいと思う。

※ 上記のメンバーに、高鷲北小校長、教頭が入ります。

「ひるがの開拓の歴史」についての授業

6月24日(金)、学校運営協議会委員が講師となって「ひるがの開拓の歴史」について学ぶ時間を、4年生を対象に行いました。開拓に入られた頃や、その後のご苦労、三白産業の始まりについてなど、当時の写真をもとにエピソードを紹介していただき、子どもたちは大変興味深く聴きました。今後、5・6年生も行予定です。

